

川の水位上昇にご注意ください

～高山ダム・布目ダムフラッシュ放流で河床をリフレッシュ～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する高山ダムおよび布目ダムでは、4月から、梅雨や台風に備えて貯水位を下げています。この貯水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

令和6年4月16日（火）

高山ダム 放流（増量）開始 9:30～放流（増量）終了 14:00（予定）

布目ダム 放流（増量）開始 11:30～放流（増量）終了 16:30（予定）

今回のフラッシュ放流は、ダムから放流する水を一時的に増やし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させるなど河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境へと改善を目指す取り組みです。

ダム下流の河川では、ダムのフラッシュ放流により徐々に水位が上昇し、木津川の恋路橋地点（南山城村）及び有市潜没橋（笠置町）地点、布目川の興ヶ原地点（奈良市）でそれぞれ最大約1.2mの水位上昇が見込まれます。さらに木津川下流でも16日夜から17日明け方にかけて水上上昇が見込まれます。河川を利用される場合は十分注意してください。

当日は各ダムからのゲート放流開始に合わせた警報（放送、サイレン）を行うとともに、河川巡視を実施します。

取材にお越しの場合、また当日の状況写真を希望される場合は事前に問い合わせ先までご連絡ください。



令和6年4月9日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

高山ダム：学研都市記者クラブ

布目ダム：奈良県政記者クラブ

奈良市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

管理課長 久保田（くぼた）

総務課長 西岡（にしおか）

住 所：三重県名張市下比奈知2811-2

電 話：0743-94-0201

高山ダム・布目ダムの下流河川環境に配慮したフラッシュ放流について

1. 目的

フラッシュ放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やすことにより、下流河川内の攪乱を起こし、石などに付着した泥を流すものです。また、藻類等を剥離させ藻類の再生を促します。これらより、河床をリフレッシュさせ、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善を目的とした取り組みを行っています。

○ 過去のフラッシュ放流実績

- ・ 高山ダム 平成 14 年度～ (計 17 回実施)
- ・ 布目ダム 平成 25 年度 (計 1 回実施)

2. フラッシュ放流の概要

①ダム管理の現況

洪水の恐れが少ない秋から冬の間、両ダムは水利用のため満水近くまで水を貯め、高い水位を維持していますが、洪水期が始まる6月 16 までに、梅雨や台風に備えて洪水調節容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで貯水位を低下させる予定としています。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。



R6.4.1 の高山ダムの様子



水位低下後のイメージ (R5.6.16 の状況)

▼4/1 の貯水位標高 132.8m

▼6/16 の目標貯水位標高 117.0m
約 16m 水位低下



R6.4.1 の布目ダムの様子



水位低下後のイメージ (R5.6.16 の状況)

▼4/1 の貯水位標高 283.6m

▼6/16 の目標貯水位標高 280.6m
約 3m 水位低下

②フラッシュ放流の実施予定日時

日時：令和5年4月16日（火）

高山ダム 9時30分～14時00分（予定）

布目ダム 11時30分～16時30分（予定）

最大放流量

高山ダム 最大毎秒約100立方メートル

放流量が最大となる時間 午前11時50分から午後12時50分頃

布目ダム 最大毎秒約 40立方メートル

放流量が最大となる時間 午後13時40分から午後14時40分頃

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③フラッシュ放流時の放流の方法（洪水吐からの放流）

下流河川で急激な水位変化を及ぼさないため、2時間ほどかけて緩やかに増量し、最大放流量を1時間ほど保持したあと、緩やかに減量します。

高山ダムは施設の点検を併せて行うため非常用洪水吐から、布目ダムは常用洪水吐から放流を行う予定です。



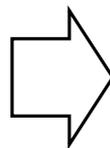
高山ダムの通常の放流状況（利水放流管）



高山ダム非常用洪水吐からの放流状況
（令和3年4月の事例）

④フラッシュ放流で期待する効果

過去のフラッシュ放流の実施状況から実施する前は、石の表面が藻類等の付着物に覆われていますが、フラッシュ放流後は、付着物が流され、石の表面が明瞭に確認できます。このように河川環境の改善効果を期待しています。



3. フラッシュ放流当日の河川利用に関するお願い

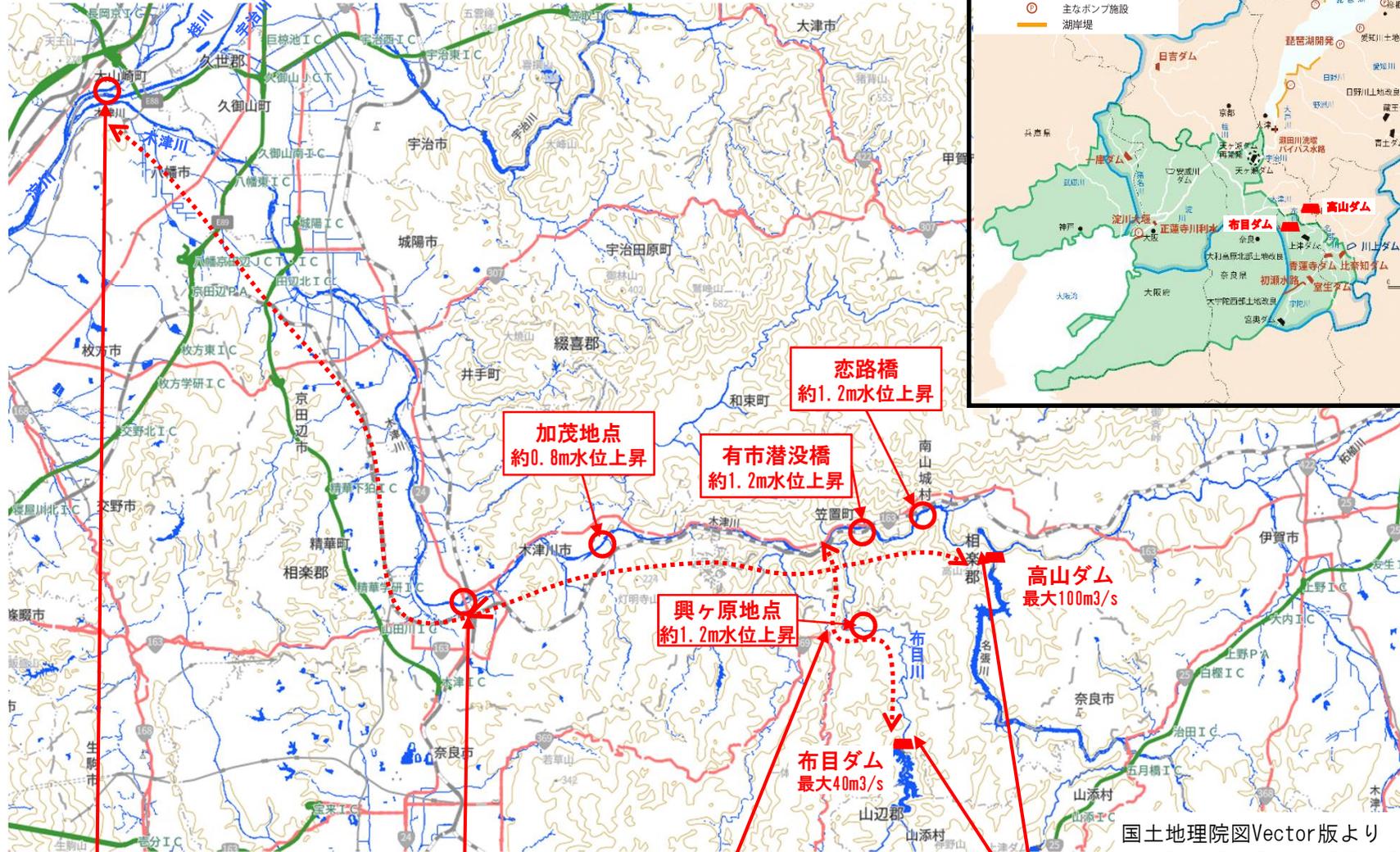
今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の木津川及び布目川では、次のとおり水位の上昇が予想されますので、河川の利用に際してはご注意ください。なお、フラッシュ放流時は放流開始前に放流警報（放送、サイレンを鳴らします。）・河川巡視を行い、河川利用者の方に河川から出ていただくことをお願いする場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・南山城村の恋路地点（木津川）：最大約1.2m水位上昇
- ・笠置町の有市潜没橋地点（木津川）：最大約1.2m水位上昇
- ・木津川市加茂地点（木津川）：最大約0.8m水位上昇
- ・奈良市興ヶ原地点（布目川）：最大約1.2m水位上昇

4. フラッシュ放流の見学等についてのお願い

下流河川では水位が上昇するので、見学される場合は、ダム管理所付近の安全な場所からご覧いただくようお願いいたします。なお、高山ダム堤体付近は道幅が狭く駐停車する場所がありません。駐車場等についてご案内しますので、見学を希望される方は、事前にご連絡をいただくとともに、当日は交通誘導員に従ってください。

高山ダム・布目ダムフラッシュ放流に関連する各地点



三川合流部（河川巡視終点）
ここまで巡視します

泉大橋地点
この地点までのサイレンを鳴らします

布目ダム下流から木津川合流までの
サイレンを鳴らします

ダム直下（河川巡視始点）
ここから下流を巡視します

加茂地点
約0.8m水位上昇

有市潜没橋
約1.2m水位上昇

恋路橋
約1.2m水位上昇

興ヶ原地点
約1.2m水位上昇

布目ダム
最大40m³/s

高山ダム
最大100m³/s

国土地理院図Vector版より

高山ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式 : アーチ重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約213.9千 m^3
 堤高 : 67.0m
 堤頂長 : 208.7m
 湛水面積 : 2.6 km^2
 流域面積 : 615.0 km^2
 管理開始 : 昭和44年8月

■ダムの目的

1. 洪水調節

洪水被害を軽減するため、最大1,300 m^3/s から調節を開始し、最大1,800 m^3/s を放流する。

2. 不特定かんがい等

木津川沿岸の既成農地3,300haの既得用水として、青蓮寺ダムからの補給量とあわせて、下流大河原地点においてかんがい期に12 m^3/s を確保するため、半旬平均で最大4.8 m^3/s 補給すると共に、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。

3. 新規利水

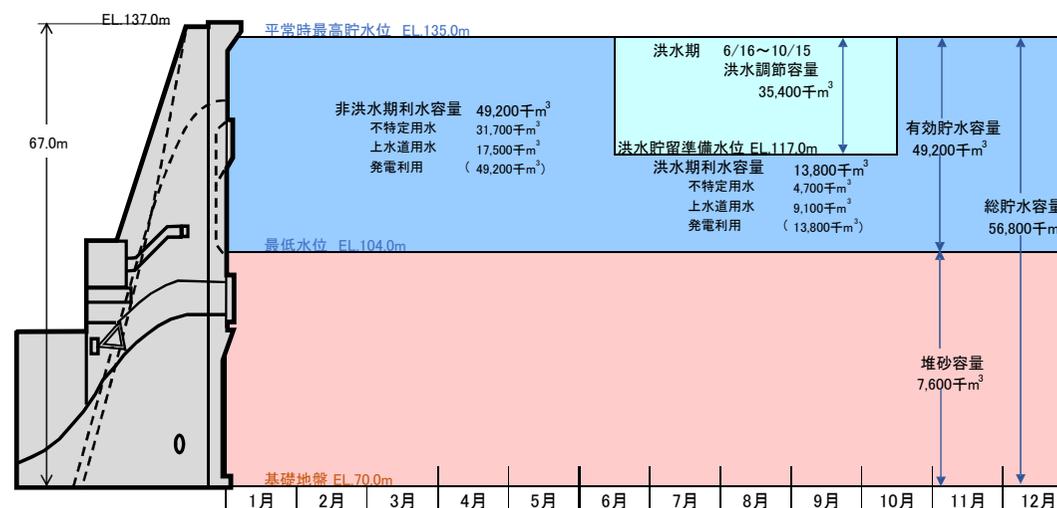
阪神地区の水道用水として5.0 m^3/s を供給する。

4. 発電

関西電力(株)が設置した高山発電所で、最大出力6,000kWの発電を行う。(最大使用水量14 m^3/s)



■貯水池容量配分図



布目ダム of 概要

■ ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
(わきダム:ロックフィルダム)
堤体積 : 約331千m³ (わきダム:約271千m³)
堤高 : 72.0m(わきダム:18.4m)
堤頂長 : 322.0m(わきダム:128.0m)
湛水面積 : 0.95km²
流域面積 : 75.0km²
管理開始 : 平成4年4月

■ ダムの目的

1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 水道用水

水道用水として、奈良市に最大1.1263m³/s、山添村に最大0.0097m³/sを供給する。

3. 流水の正常な機能の維持

布目川の既得用水の補給等、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。



■ 貯水池容量配分図

